

No.93 地震や津波を想定した高台への避難訓練の実施

- 管内 留萌管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他 ()
- 教育課程 教科 (科) 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校(低) 小学校(中) 小学校(高) 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 災害時の避難方法や経路の理解
- 災害時に素早く主体的に行動する意識を高める指導の実施

取組の実際

ねらい

災害が起きた場合に起こり得る危険を理解するとともに、高台への避難を体験することをとおして、災害時に素早く整然と行動する意識を高める。

内容

1 背景

本校が所在する地区は、海岸から5km離れた内陸部ではあるが、河川があることから津波の危険性がある。また、本校の生徒は地元以外の出身者が多いため、津波の危険性があることを理解できていない状況である。

2 手順

授業中に震度7の地震発生、2分後に10mの津波警報発令を想定して実施した。

地震発生後、放送並びに教職員の指示により学校の駐車場に一度避難した後、津波警報発令のアナウンスと同時に1km離れたスキー場へと避難した。

3 所要時間

- (1) 駐車場避難完了 約2分後
- (2) スキー場避難完了 約11分後

○ 生徒の感想

- ・海から5km離れていても津波に遭う場合があることを今回の訓練で初めて知った。
- ・地震が起きたときどのように逃げるか知ることができてよかった。



避難（国道の横断）



避難（スキー場への移動）



消防署員からの講評

成果と課題

- 生徒や教職員が避難方法や経路の理解を深めることができた。
- 実際に1km離れた高台へ集団で避難する経験や消防署員からの講評をとおして、生徒は主体的に俊敏に行動する意識を高めることができた。
- 避難経路の途中に幼稚園があることから、次回以降、幼稚園と合同での訓練を計画する。また、高校生が幼稚園児の避難を手助けする方策も検討する。